

革製品が本当に
自宅で洗えるんです!
変わるんです!

革るん!

<http://www.kawarun.jp>

TEL 0120-584-503 E-MAIL info@kawarun.jp



【取扱説明書】

このたびは、革るん!をお買い上げいただきまして、ありがとうございました。

(ご使用になる前に)

- ・ご使用に際しましては、本書を最後までご覧いただき、手順通りにご使用下さい。
- ・本書をお手元に大切に保管して下さい。
- ・製品には万全を期しておりますが、万一の不慮の事故につきまして、当社では責任を負いかねますのでご了承下さいませ。

●300mlセット内容

- ※洗剤(300ml) ※柔軟剤(300ml)
- ※仕上げクリーム(20ml)
- ※計量カップ ※取扱説明書

●300mlセット成分

商品名	革るん(合成洗剤)	革るん(柔軟仕上げ剤)	革るん(仕上げクリーム)
主成分	界面活性剤(ノニオン系)・移染防止剤・抗菌剤・エモリモント剤	界面活性剤(カチオン系・ノニオン系)	みつろう、植物性油
容量	各300ml		20ml
用途・液性	天然皮革/ 弱酸性	天然皮革	
使用目安	箱内の取扱説明書に記載されています。		
保存方法	高温多湿、直射日光を避けて保存してください。		

●150mlセット内容

- ※洗剤(150ml) ※柔軟剤(150ml)
- ※仕上げクリーム(15ml)
- ※取扱説明書

●150mlセット成分

商品名	革るん(合成洗剤)	革るん(柔軟仕上げ剤)	革るん(仕上げクリーム)
主成分	界面活性剤(ノニオン系)・移染防止剤・抗菌剤・エモリモント剤	界面活性剤(カチオン系・ノニオン系)	みつろう、植物性油
容量	各150ml		15ml
用途・液性	天然皮革/ 弱酸性	天然皮革	
使用目安	箱内の取扱説明書に記載されています。		
保存方法	高温多湿、直射日光を避けて保存してください。		

使用例

【丸洗いでできるもの】

- 革製のカバン・バッグ
- 革製衣類（革ジャン、革ジャケット、レザーコート、ライダースジャケット、レザーパンツ、フライトジャケット、革手袋など）
- 革靴、革ブーツ、ムートンブーツ
- グローブ等の革製スポーツ用品
- ヌバック、スエード、ムートン素材のものもOKです。

【タオル・スポンジなどを使って拭き洗いでできるもの】

- レザーソファ
- ゴルフバックなどの革製スポーツ用品など
- 革製品のお手入れに

【適さないもの】

- クロコダイル・蛇・トカゲ等の革製品
- 日光による変色が著しいもの（日光で変色したものは元に戻らないため）
- 財布、キーケース（水洗いした際に、縫糸が切れたり型崩れすることがある）
- バックの底に厚紙が敷いてあるもの（水洗いで厚紙が損傷することがある）
- 機械油・エンジンオイル・ペンキ・マジック・植物油等の油性の汚れやしミ
- 時間の経った血液の汚れ
- 裏地が洗浄に適さない素材のもの（カシミア、厚紙など）
- 水で剥がれやすい糊（のり）で接着してあるもの
- ルイヴィトンのモノグラムとダミエのバッグ（まれに洗った後に独特な匂いが出ることもあるため）
- ブランドの類似品、極端な安物や、作りが粗雑なもの。（糸のほつれ等の破損や型崩れや色落ちが生じやすいため）

※上記以外に判断が難しいものについては、お気軽に当店までご連絡ください。

【注意が必要なもの】

- 白色のムートン製品（他の衣類と一緒に洗った際に色移りする可能性あり）
- ラム革のコート・ジャケット（シワが出る可能性あり。特に薄手のもの）
※対処方法＝付属の仕上げクリームをシワを伸ばしながら塗ることで、たいいていのシワは消えていきます。
※なお、ムートン素材は洗濯OKです。
- ラム革のバッグ類（シワが出る可能性あり）
※ラム革のバッグ類の場合、ラム革のコートと比べて表面積が少ないためシワを伸ばす対処が困難になります。
- 色落ち・色移りの可能性のある衣類
- ひび割れ、はがれ、縫糸のほつれ、ファスナーの破損のあるもの
（洗った際にさらに傷める事があるため）
- スタジアムジャンパー等で、ワッペンや刺しゅうの貼り付けに接着剤を使っているもの（洗ったときに剥がれる可能性あり）
- 毛皮製品や、毛皮が付属している革製品
（洗濯機で洗った際に毛が抜ける可能性があります。洗濯機を使わずに手洗いすることで、毛が抜けるリスクを軽減できます）
- シャネルのポンプス・靴類（色落ち事例数件あり）

応急処置

- ・ 液が目に入った時は、こすらずに流水で十分に洗い流してください。
誤って飲み込んだ時は水を飲む等の処置をしてください。
異常が残る場合は医師に相談してください。
- ・ 吸入した場合：蒸気の発生は極めて少ないですが、万一気分が悪くなった場合は、
空気の新鮮な風通しのよい場所で安静にしてください。
異常が残る場合は医師に相談してください。

使用上の注意

●共通事項

※前ページの使用例をよく読み、適さないものにはご使用にならないで下さい。

※子供の手の届く場所に置かないで下さい。

※使用後は手をよく洗い、ハンドクリームなどで手入れして下さい。

※荒れ性の方や、洗剤原液をスポンジにつけて使用する場合は、炊事用の手袋をして下さい。

※革製品の特性上、染色加工の方法により色落ちが生ずる場合があります。初めて「革るん!」を使用される革製品の場合は必ず、湿らせた布で目立たない部分を拭き、色落ち・変色しないか確かめ、色落ち・変色するものには使用しないで下さい。

※熱湯やお湯で洗うと革を傷める場合があります。必ず常温(25度以下)の水をご使用下さい。

※長時間、洗淨液に浸けて置かないで下さい。

※「革るん!」で洗うとカビは落ちますが、カビのひどい製品はカビの跡が残る場合があります。

※干し方によってはカビが生える場合がありますので風通しのよい場所で干して下さい。また、乾燥後、保管状態によっては再びカビが生える場合がありますので、できるだけ風通しの良い場所で保管して下さい。

※硬い毛のブラシやザラザラしたスポンジ等で革をこすると、表面に傷がつく恐れがありますのでおやめ下さい。

※仕上げクリームが均一に塗られていない場合、乾いた後にテカリが残ることがあります。余分なクリームは柔らかい布で拭き取って下さい。

※干す前にはきちんと形を整えて干して下さい。ただし、無理な力を加えて伸ばしたり、整えたりしないで下さい。型崩れやシワの原因となります。

※干す際に洗濯ばさみ等を使用すると、跡が残る場合がありますので使用しないで下さい。

※汚れが著しい場合は、汚れが落としきれない場合があります。

※日光による変色は直りません。

●特に、洗濯機で洗う場合(革製衣類等)

※革製衣類の場合、洗濯機でのまとめ洗いができますが、同系色どうして洗って下さい。また必ず洗濯用ネットを使用して下さい。

※型崩れ防止のために、衣類のサイズにあったネットを必ずご使用下さい。

※すすぎ過ぎると保湿成分や色落ちを防ぐ成分が失われます。設定時間を守り、すすぎ過ぎにご注意下さい。

※乾燥機の使用は厳禁です。陰干して自然乾燥にて乾かして下さい。

※脱水後は速やかに取り出し、仕上げクリームを柔らかい布などでシワを伸ばすようにまんべんなく塗って下さい。(スウェード・バックスキンを除く)

※革の種類によっては、乾いた後に多少革が硬くなる場合があります。その場合は完全に乾いた後に手で軽く(革を傷めない程度に)もんで下さい。

●特に、手洗いする場合(革製バッグ等)

※洗淨液が革に浸透する時間は一定ではありません。そのため、革の素材(特にめめ革)によっては色むらが生じる場合があります。

※バッグの原型を崩さず洗って下さい。無理な力を加えると型崩れやシワの原因となります。

※すすぎ過ぎると保湿成分や色落ちを防ぐ成分が失われます。すすぎ過ぎにご注意下さい。

※革が折れ曲がっている部分や、持ち手・縫い目の部分は、既に革が弱っている場合があります。洗い過ぎ・こすり過ぎにご注意下さい。

・汚れ・匂い・カビ等の度合いや質、素材の相性によっては、どうしても落ちずらいものもございます。

・洗濯は自己の責任でお願い致します。製品には万全を期しておりますものの、万一の不慮の事故につきまして、弊社では責任を負いかねますのでご了承下さいませ。

洗い方の手順

革靴、ブーツ

1から6の手順にそって洗ってください。

1 色落ちの確認

目立たない部分を湿らせた布で軽く拭きます。

(色落ち・変色するものは洗わないで下さい。特に赤や青色系のものは色落ちし易いのでご注意ください)



2 洗浄液を作る

容器に洗剤50ml、水500mlを入れて、かき混ぜます。(必ず常温の水をお使い下さい)



3 洗う

先ほど薄めた洗浄液をスポンジや布などに含ませて、まんべんなくこすり洗います。



4 すすぐ

洗剤の泡がなくなるまで、流水(常温)できれいにすすぎます。



5 拭く→仕上げクリームを塗る

タオルで水気を拭き取ります。(水分が残っていると水ジミの原因となります。)

水分が無くなるまで数回しっかりと拭き取って下さい)

↓
水分を拭き取った後、仕上げクリームを薄く塗りこみます。

※注意= スエードやムートンブーツなどの起毛革の素材のものには、仕上げクリームを塗る必要はありません。



6 形を整えて干す

形を整えて、風通しの良い場所で陰干しにし、自然乾燥させます。



洗い方の手順

※製品の素材をお確かめの上、手順をお間違えなく洗ってください。

革製衣類（表革）

1から9の手順にそって洗ってください。

1 色落ちの確認

目立たない部分を濡らせた布で軽く拭きます。
（色落ち・変色するものは洗わないで下さい。
特に赤色や青色系のものは色落ちし易いのでご注意ください）



2 汚れの確認

汚れ・カビが酷い部分がある場合には、薄めた洗剤（水：洗剤＝10：1程度）を柔らかいスポンジやブラシにつけ、こすり洗います。



3 洗濯ネットに入れる

洗濯ネットに衣類を入れます。

なお、衣類を保護するために、下記を推奨します。

- ・ファスナーを閉める。
- ・とがった金具が付いた衣類の場合、金具を閉めるか、テープ等で保護する。
- ・表側がつるつるした衣類の場合、まれに洗濯ネットの型がつくことがあるので、表側を裏にしてネットに入れる。



4 洗う（設定時間10分目安）

洗剤を洗剤入れに、柔軟剤を柔軟剤入れに注ぎ、水をためます。
洗濯機の中に洗濯ネットを入れます。
通常の洗濯コースで洗いましょう。



＜使用量の目安＞

・水10Lに対して洗剤10ml、柔軟剤10ml程度が目安となります。

（例）

- ・男性ものの厚手のジャケット1枚を洗濯する時に、50Lの水量にて洗濯する場合は、洗剤50ml、柔軟剤50ml程度を目安となります。
- ・節水型やドラム式洗濯機の場合は、同様の厚手のジャケット1枚を洗濯するのに、洗剤50ml、柔軟剤50ml程度を目安として下さい。

洗濯の途中で、洗濯機を一時停止してそのままつけ置きすることで、さらに良い風合いを期待できます。

（『約5分ほど洗濯して一時停止⇒そのまま洗濯機の中でつけ置き（10分～15分）⇒スタートボタンを再度押して残り時間の洗濯を再開』の手順）

5 脱水 1回目（設定時間2分目安）

6 すすぎ (設定時間5分目安)

すすぎ過ぎに注意。

すすぎ時間が長すぎると、保湿成分や色落ちを防ぐ成分なども流れてしまい、トラブルの原因となることがあります。

(泡切れの良い洗剤ですのですすぎは1回で充分です)



7 脱水 2回目 (設定時間10分)

脱水が終わるまで洗濯ネットに入れておきましょう。脱水後は速やかに取り出して下さい。

8 シワを伸ばしてクリームを塗る

濡れているうちにクリームを塗ります。

やわらかい布にクリームをつけ、脱水じわを伸ばしながらまんべんなく塗ります。(伸びの良いクリームですので、少量を薄く伸ばしながら塗ることができます)



※注意＝ スエード、ヌバック等、表面が起毛革の素材の場合は、クリームを塗る必要はありません。

9 自然乾燥する

形を整え、風通しの良い場所で陰干しにし、自然乾燥させましょう。



《補足》

- 洗濯機の時間設定はあくまで目安です。手動での時間設定が難しい場合には、“通常の洗濯コース”で洗っていただいても構いません。(但し、すすぎ時間は長すぎないようにして下さい。5分程度を推奨しております)
- ドラム式の場合も、同様となります。
- 柔軟剤入れ(柔軟剤投入口)を使わずに柔軟剤を洗濯槽に直接入れる場合には、すすぎの段階で入れて下さい。

さらに柔軟性を出したい方や衣類の硬化やゴフゴフを改善したい方は右ページの洗い方をご参照下さい。

⇒ <https://kawarun.jp/soft>



洗い方の手順

※製品の素材をお確かめの上、手順をお間違えなく洗ってください。

革製バッグ(表革)

1から8の手順にそって洗ってください。

※ぬめ革バッグは次ページをご覧ください。

1 色落ちの確認

目立たない部分を湿らせた布で軽く拭きます。
(色落ち・変色するものは洗わないで下さい。特に赤色や青色系のは色落ちし易いのでご注意下さい)



2 洗浄液を作る

容器に洗剤50ml、水500mlを入れて、かき混ぜます。
(必ず、常温の水をお使い下さい)



3 洗う

柔らかいスポンジなどに、先ほど薄めた洗浄液を含ませて、バッグ全体をまんべんなくこすり洗いしましょう。



4 すすぐ

洗剤の泡がなくなるまで、流水(常温)できれいにすすぎましょう。



5 柔軟剤につける

容器に2Lの水をはり、柔軟剤50mlを入れてかき混ぜ、その中にバッグをつけます。
革全体に柔軟剤を浸透させましょう。
(目安時間 10分~15分程度)



6 すすいで拭く

流水(常温)で軽く洗い流した(1~2分)後、乾いたタオルで全体をよく拭き、水分を取り除きましょう。
(水分が残っていると水ジミの原因となります。水分が無くなるまで数回しっかりと拭き取りましょう)



7 仕上げクリームを塗る

バッグが湿っているうちに、クリームを塗ります。
柔らかい布にクリームをつけ伸ばしながらまんべんなく塗ります。
(伸びの良いクリームですので少量を薄く伸ばしながら塗ることが出来ます)



※注意：スエード、ヌバック等、表面が起毛革の素材の場合は、クリームを塗る必要はありません。

8 形を整えて干す

形を整えて、風通しの良い場所で陰干しにして、自然乾燥しましょう。

バッグ洗いのポイント!!

革が折れ曲がっている部分や、持ち手・縫い目の部分は、すでに革が弱っている場合がありますので、洗いすぎやこすりすぎに注意してください。

洗い方の手順

ぬめ革を使用しているバッグ

1 色落ちの確認

革製品の特性上、染色・加工方法により色落ちが生じる場合があります。湿らせた布で目立たない部分を軽く拭き、色落ち・変色するものは洗わないで下さい。特に赤色や青色系のものは色落ちし易いのでご注意下さい。

2 柔軟剤につける

容器に2Lの水をはり、50mlの柔軟剤を入れて全体に浸透させましょう。(目安時間 10分~15分程度)

3 洗剤液を作る

容器に洗剤50ml、水500mlを入れてかき混ぜましょう。

4 洗う

スポンジ等に水で薄めた洗剤液を含ませ、軽くバッグ全体をまんべんなくこすりましょう。

5 すすぐ

流水で洗剤の泡がなくなるまできれいにすすぎましょう。

6 拭く

乾いたタオルで全体をよく拭き、水分を取り除きましょう。

7 クリームを塗る

付属のクリームを塗りましょう。(少し濡れている状態で塗ったほうがクリームがよくなじみ、より良い仕上がりになります)

8 形を整える

タオルなどを詰めて形を整えましょう。

9 干す

風通しの良い場所で陰干しにして、自然乾燥しましょう。

レザーソファやゴルフバッグなどの場合

レザーソファ等の革製の家具や、ゴルフバッグ等の革製スポーツ用品はウエスを使ってクリーニングできます。



1 色落ちの確認

革製品の特性上、染色・加工方法により色落ちが生じる場合があります。湿らせた布で目立たない部分を軽く拭き、色落ち・変色するものは洗わないでください。特に赤色や青色系のものは色落ちし易いのでご注意下さい。

2 洗剤液を作る

容器に洗剤50ml、水500mlを入れてかき混ぜましょう。

3 洗う

ウエスに水で薄めた洗剤液を含ませ、全体をまんべんなく拭きましょう。

・3回ほど拭くことをおすすめします。
(1回拭いた後に1時間ほどそのままにして乾かしましょう。それを3回ほど繰り返します)

4 拭く

硬く絞ったタオルで全体をよく拭き取りましょう。(3~5回、程度水がきで拭きとりしてください)

5 クリームを塗る

付属のクリームを塗りましょう。(少し濡れている状態で塗ったほうがクリームが馴染みやすくより美しく仕上がりになります)

※注意：スエード、ヌバックなど、表面が起毛革の場合は、クリームを塗る必要はありません。

Q. 手洗いする際には、何を使えばいいですか？

A. 柔らかいスポンジやブラシの使用を推奨します。
(毛の硬いブラシやザラザラしたスポンジ等ですると表面にキズがつくことがあります)

Q. お湯で洗っても大丈夫ですか？

A. 必ず常温の水で洗って下さい。熱湯やお湯で洗うと革を傷めることがあります。(革は50℃以上で縮む性質があります)

Q. 乾燥機を使用して乾かしても大丈夫ですか？

A. 乾燥機の使用は絶対にやめてください。(革は50℃以上になると縮む性質があります)

Q. 何日ぐらいで乾きますか？ 干している時に雨が降っても大丈夫ですか？

A. 天候や気温・湿度にもよりますが、好天時に風通しの良い場所に日陰干しすることで、3日程度で乾きます。
なお、シミになる心配がありますので、雨天など悪天候の時やお出かけの際には、室内に取り込んでください。

Q. 乾いた後、しまっておいたらカビが生えたのですが？

A. 革るん!でカビが落ちても、その後の保管状態によっては再びカビが生える場合があります。
できるだけ除湿された風通しの良い場所で保管してください。

Q. 洗って革が縮むことはないですか？

A. 手順通りに洗って頂ければ、縮むことはありません。
若干の縮みがあった際は濡れているうちに革を伸ばして形を整えて下さい。

Q. 合成皮革は洗えますか？

A. 合成皮革製品(ポリウレタン、塩化ビニール、ポリエステル等)も天然皮革製品と同様に洗えます。
ただし、劣化の進んだ合成皮革製品はわずかな摩擦で剥離を生じる場合があります。
すでにひび割れやはがれ等があるものは注意が必要となります。

Q. 毛皮は洗えますか？

A. 洗濯機で洗うと、毛皮の毛が抜け落ちることがございます。
(洗濯機を使わずに手洗いすることで、毛が抜け落ちるリスクを軽減できます)

Q. 古い革製品も洗えますか？

A. ひび割れ・はがれ・縫い糸のほつれ等、着用によってもろくなった部分は、破れたりすることがあります。
(もろくなった部分・革が折り返されている部分、持ち手の部分、縫い目の部分は既に革が弱っています)
洗い過ぎやこすり過ぎに充分注意して洗ってください。

Q. 海外で購入したのでラベルが読めないのですが？

A. 海外で購入した製品には特に品質の基準がないものがあり、洗った後に変化が生じやすいことがあります。
ラベルが読めないものはご注意ください。また、ブランド品の類似品は、縫製・接着部分に問題がありますので洗わないことをお勧めします。

Q. カビは本当に落ちますか？

A. 洗うとカビは落ちますが、カビが特にひどい製品を洗った後にカビの跡が残る場合がございます。
その際には、拭きとっていただきますと跡が落ちます。

Q. 変色は直りますか？

A. 日光による変色は直りません。

Q. 高価なブランド品を水洗いしても大丈夫なのか心配です。

A. (ブランド品などで素材や作りがしっかりしている物ほど、良い仕上がりになる傾向があります。
高価なブランド品を水洗いしてもOKか否か気になる際には、ご購入されたショップやメーカーへ問い合わせしてからのご使用をお勧めしております。

Q. ほかの皮革製品と一緒に洗っても大丈夫ですか？

A. 革製品であれば異素材でもまとめ洗いができます。
但し、色移りなどのトラブルを防ぐためにも、同系色どうして洗うことをお勧めします。

Q. 洗濯機のすすぎの設定に「溜めすすぎ」と「注水すすぎ」があるのですが、どちらを選択すればいいですか？

A. すすぎ設定の選択が可能な場合は、「溜めすすぎ」の設定を推奨します。（「注水すすぎ」でも特に問題ありません）

Q. すすぎは1回だけで大丈夫ですか？

A. 洗剤は主に汚れを落とす成分でできており、とても泡切れの良い洗剤ですので、すすぎは1回で宜しいです。
柔軟剤は保湿性成分や色落ちを防ぐ成分でできており、すすぎ過ぎることによって保湿成分や色落ちを防ぐ成分が失われてしまう場合がございます。設定時間を守ってご使用ください。

Q. 洗濯ネットに入れて洗ったほうが良いですか？

A. 洗濯機で洗う際には、衣類を洗濯ネットに入れて洗うことをお勧めします。
ネットを使用しないと、絡まりや破損などトラブルの原因になる場合がございます。
最後の脱水までネットに入れておいてください。
※ファスナーを閉じてネットに入れることを推奨します。また、表側がつるつるした衣類の場合、洗濯ネットの型がつくことがありますので、表側を裏にしてネットに入れることを推奨します)

Q. 洗濯機に入らないような大型の衣類は、どのようにして洗うのですか？

A. 洗濯機に入らない大型の衣類は、浴室等で手洗いすることを推奨します。
（洗う手順は「バッグの洗い方」と同様の流れとなります）

Q. シワ加工のものを洗っても大丈夫ですか？

A. シワ加工のものを洗っても風合いは変わりません。

Q. 乾いたら革が硬くなった気がします？

A. 革の種類によっては硬くなる場合がありますが、完全に乾いた後に手で優しくもんでいただくと以前の風合いに戻ります。（ただし、あまり強くもむと破れやほつれの原因になる場合がございます）

Q. スエードやヌバック等、起毛革の素材のものに、仕上げクリームを塗っても構わないですか？

A. スエードやヌバック等の起毛革の素材のものには、仕上げクリームを塗る必要がございません。

Q. 革ジャンを洗濯機で洗って、洗濯槽が汚れたりカビたりしないか心配です。

A. 革ジャンを数回ほど洗った程度で洗濯槽が酷く汚れたりカビになったりすることはございません。
（洗濯槽の汚れ・カビの原因の多くは、日頃の洗濯で溜まった洗剤の溶け残りや湿気です）
もしも、どうしても洗濯槽の汚れが心配な際には、洗濯が終わった後に、市販の洗濯槽クリーナーで洗濯槽を洗浄することで解消します。

Q. 洗濯物を干す際に注意することはありますか？

A. 洗濯物を干す際には、下記の事項にお気をつけください。

- ・直射日光を避けて陰干しして下さい。
- ・乾燥機は使用しないで下さい。
- ・ストーブなど暖房器具のすぐ近くには干さないで下さい。
- ・夜間や天気が悪い日や氷点下の日など、外で干すのに不適切な条件の際は、湿気対策で室内に干して下さい。
- ・ジャケット類は、型崩れしないようにハンガーに干して下さい。
- ・洗濯バサミを使うと、型が付く可能性がありますので注意して下さい。
- ・室内で干す際には、タバコや料理の臭いなど付かないように気をつけましょう。

革るん!

Q&A

バッグ・ブーツ・靴 の洗濯について

Q. バッグやブーツ・靴類は洗濯機を使って洗えますか？

A. 型崩れることがありますので、バッグやブーツ・靴は洗濯機を使用せず、浴室などで手洗いすることを推奨します。

Q. バッグやブーツ・靴のノリのついてる部分は濡れても大丈夫ですか？

A. 接着剤が水に溶けない性質でできているものが大半ですが、一部にノリがはがれるものもございます。

Q. 洗ったあとに色が変わってしまったのですが？

A. 洗剤が染み込む時間は一定ではありません。そのため革の素材(特にぬめ革)によって色むらが生じる場合がございます。洗剤は全体に浸透するようにしてください。

Q. どんなバッグやブーツ・靴でも洗えますか？

A. 下記のものには洗えませんので、ご注意ください。

- ・底面に厚紙が敷いてあるもの
- ・ブランドの類似品や、極端な安物のような、作りが粗雑なもの。(糸のほつれ等の破損や型崩れや色落ちが生じやすいため)
- ・ルイヴィトンのモノグラムとダミエのバッグ (洗濯した際に独特の匂いを発することがまれにあるため)

また、使用によってもろくなった部分・革が折れ曲がっている部分・持ち手の部分・縫い目の部分はすでに革が弱っていますので洗い過ぎやすすり過ぎに注意してください。

Q. 洗った後にシワが出来たのですが？

A. 無理な力を加えてバッグの形を変えると、型崩れやシワの原因になります。原型を崩さずに洗ってください。また干す前にきちんと形を整えてください。

Q. スエードやヌバックやムートンブーツ等の起毛革の素材のものに、仕上げクリームを塗ってもいいのでしょうか？

A. スエードやヌバックやムートンブーツ等の起毛革の素材のものには、仕上げクリームを塗る必要がありません。

Q. 財布やキーケースも洗えますか？

A. 財布やキーケースには使用しないでください。

【仕上げクリームについて】

■固形クリームです。稀に固くなっていて使いづらい場合がございます。その際には、お手数をおかけしますが、ケースのままぬるま湯に1分ほど浸けてからご使用下さい。

■クリームの容量について、一部のケースに誤りがありました。下記の通り訂正してお詫び致します。

- ・革るん150mlセット クリーム容量 15ml
- ・革るん300mlセット クリーム容量 20ml

■クリーム内容物に変更がございます。

「ホババオイルとみつろう」→「スイートアーモンドオイルとみつろう」

※ホババオイルが、原産国メキシコの異常気象の影響より入手困難になりました。そのため、スイートアーモンドオイルをホババオイルの代用として使用しております。ただし、革製品の保温効果などの効能は変わりませんのでご安心下さい。

■仕上げクリームのみ販売もしております。日ごろの革製品の手入れ用としてもお使いいただけます。ご用命の際には、電話 0120-584-503 (フリーダイヤル)までお電話ください。

※洗濯は自己の責任でお願い致します。

製品には万全を期しておりますが、万一の不慮の事故につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承くださいませ。

“革るん!”で、お洗濯。

ワンポイントアドバイス

(洗い方については同梱の取扱説明書をご参照下さい)



アドバイス!

カビや汚れが酷い時

- ・カビや汚れをきつく絞ったタオルで拭いてから
- ・浴室などで下洗いしてから
- ・部分洗いしてから

洗濯機でザブザブ。

- ・頑固なカビや汚れは、“2度洗い”で、スッキリ!!



アドバイス!

ニオイ落とし

- ・半乾きの状態のとき、においが特に気になることがあります。乾いてくると解消してきます。

- ・それでもにおいが取れない場合、さらに2週間程度干して様子を見てください。(カビ菌が完全に滅するまで時間がかかる場合がございます)

- ・なかなか落ちない頑固なにおいは、ある程度、時間を置いてから 2度洗いしてみてください。(それでも解決しない時には、私どもまで相談下さい。TEL 0120-584-503 フリーダイヤル)



アドバイス!

シミ落とし

- ・ジュース類、酒などのシミ落としには、革るんの洗剤の水溶液を布に少し湿らせて叩いて分解して下さい。その後、革るんで水洗いしてみてください。

アドバイス!

ちょっとひと工夫

- ・洗濯バサミを使って干す際には、洗濯バサミの跡が付かないように、衣類と洗濯バサミの間に布などを挟むことをお勧めします。
- ・ライダーズジャケットやラムコート等、表面に光沢ある衣類を洗濯ネットに入れて洗った際に、ネットの跡が背中部分に付くことがまれにございます。そのため、裏返しにしてネットに入れることをお勧めします。
- ・縫製が不十分な物や、ピンテージ物など古い衣類はファスナーや糸が劣化していることがありますので、糸のほつれ等によるファスナーや縫い目の破損に注意が必要です。
- ・金具が多い衣類は、金具を締めて洗濯ネットに入れて保護して洗うことで破損防止になります。
- ・“仕上げクリーム”は、革製品のお手入れ用としてもお使い頂けます。(クリームのみで販売もしております 当店までお問い合わせ下さい。TEL0120-584-503)
- ・大型の衣類など洗濯機に入らないものを洗う時には浴室などで手洗いすることをお勧めします。(手洗いの手順は取扱説明書に記載の「バッグの洗い方手順」をご参照下さい)
- ・干している時に、衣類の内部に潜んでいたカビの跡が表面に白く浮き出てくる場合があります。布などでサッと拭き取ることで簡単に取れます。(それでも取れない時には、乾いた後に爪などで削り落として下さい)
- ・洗濯機の洗濯層のカビ・汚れが気になる場合、洗濯層クリーナーで洗浄することで解消します。(洗濯層クリーナーは100円ショップ等で販売されています)
- ・洗った後に少し硬くなった場合は、もみほぐして下さい。さらに柔軟性を改善したい際は、右ページの洗い方をご参照下さい。 ⇒ <https://kawarun.jp/soft>



※使い方については同梱の取扱説明書をご参照下さい。(洗濯は自己の責任でお願い致します。製品には万全を期しておりますが、万一の不慮の事故につきまして当社では責任を負いかねますのでご了承下さいませ)